

聞こえてくる鳥のさえずり聞こえてくる実の落ちる音リスのおしゃべり
いさり火の小さな輝き消えてゆく水平線のはるか彼方へ
青空にぶかぶか浮ぶ白いふね心がまっしる気持ちいいよね
君と会い話して笑える幸せを表す言葉持っていない
舟のよう波にゆられる恋のころたどりつくのはあなたのころ

(大学生の部)

青い海すくえぬ蒼さよ遙かなるゆるくまあるい水平線
月こそは陽の光にて映えるなら私は貴女の月でありたい
撤退の汚泥の道に乱れ散る死人の数を群とは呼ばず
片恋はいつまでつづく秋冷にあつてせつないレゾンデートル
好きなんだドラマのように言えたなら心はどんなに晴れ晴れ天気

佳作

(中高校生の部)

想つ人あなたにだけはアマンジャク「あなたの事が嫌い」だと
ここにいる今過ごしているこの時間あの人待つため青春あくる
喜びと幸せつもる恋心一億分の二人なのだから
夏の日に浜辺で拾った貝殻はともきれいで宝石のよう
柔道にすべてをかける僕たちはいつかなりたい世界の王者
騎馬の上に友達を乗せ突進す大きな力を両肩に受け
側についてつんと頷く横顔に話しかけるの君が大好きです
香水とたばことシャンブー入り混じり嫌いで好きな君だけの匂い
ぼるぼるになったアルバムめくるたび心に響く渚の音が
聞き慣れた自分の名前を聞いただけで口元ゆるむ園児が呼ぶから
テスト前になぜかメールをしてしまい直前になりあわてるあたし
「がんばって」応援してはいるけれど心の中では「無理しないで」と
白い息無邪気に笑つ横顔をすつと隣でみつめていたい
「何色が愛の色なの?」その色であなたにいつぱい手紙を書くの
春の日の夕暮れどきによみがえる言いたい気持ち言えない気持ち
トンカチの音が静かに鳴り響く父を思いつ夜に目覚める
メールでは君の言葉は届くけど君の心はわからないまま
リバウンドとりにくい君にみとれてディフェンスせずにおこられちゃった
暑い夏一人で歩いた海岸線なんだか悲しくなっちゃった
海猫を見るならやはりふるさとの無島あたりが一番だと思つ
冬の海波が来るたび考えるどこかに見えるほぐらの未来
海の上カヤックとめてふと気づく一人でここにいる寂しさを
潮風の匂いととも耳に届く昔のままの父の鳥唄
校庭を横切る風にさえずり伝えすにいた君への思い
広い海に私は一人残されてふと見上げれば笑つ空あり
ある山の小屋でねている少年は夢で泳ぐまだ見ぬ海で
金平糖(きんぺいとう)パステル色の粒々は君とあたしの思い出のよう
部活中の楽器をおろし外を見るオレンジ色が海に広がる
日本海浜から見える漁火は浮んだ町の電灯みたい
結論はまだ出さぬまま書きはじむ君への手紙風止みしの子
入選

(中高校生の部)

好きやけど伝えられないこの気持ち誰か私に勇気を下さい
なにげなくにぎるその手は温かくこの距離はもう忘れられない
公園でトコトコワゴン走り出す走つた後は可愛い寝顔
太陽が水面にダイヤ散りばめて私の朝に勇気をくれる
制服がほこりをかぶる夏休み夏の終わりを感してしまつ
「もつ飛べる?」「まだ飛べない」とおじけづくヒナの姿を見守る瞳
引き潮にびっくりしたから口開けた海を初めて見た時だった
あの海が空の青をつつすように私は何をうつしていいの?
鳴り響くザッパンザッパン海は鳴るもつともつと高く鳴り響く
漁船港白い海辺に止められた赤い自転車キラキラヒカル
ウミガメの母さんがなく砂浜を母なる海がやさしく包む
船に乗り七つの海をまたにかけ夢ではいつも航海中
アオリイカ一回釣つたらやめられない授業中にも心は海に
ヨイコラと船の上から呼ぶ声に伝えるように立つ波しびき
透明で空の鏡になったとき歌を無くして色を得た海
寒い外もつた窓の向こう側小さい子供が遊んでいる
あの頃はただ父さんとか呼ぶなくてただけと今なら親父と呼べる
その声がずっと聞きたいもう君は電車の中で下を向いてた
怒つたり穏やかだったり海は波今日少しづつわしづつ
あたたためたコートに感じる母の愛自転車走らす朝もやの道
荒れる海力二をもとめて出航する父の姿に僕ははげむぞ
大変な夏の特訓身について私の夏の思い出となる
夕風に鳴き声止める海鳥よおまえも母の胸へと帰らつ
暖かい瀬戸内海の風を受け心も体も成長した十五年

奈良県奈良市立飛鳥中学校 井上春華
兵庫県香美町立香任第二中学校 山盛裕美
岡山朝鮮初中級学校 鞠千香
三田学園高等学校 大西隆史
近畿大学付属豊岡高等学校 宮本 遼

名古屋造形芸術大学短期大学部 石田 愛
信州大学 森下 孟
東京基督教大学 成沢未来
早稲田大学 石川大介
北星学園大学 山神優仁

兵庫県立和田山高等学校 和田茉莉
兵庫県香美町立射添中学校 水口真優
近畿大学付属豊岡高等学校 太田まき
宮城県名取市立みどり台中学校 竹中絵理
兵庫県社町立社中学校 酒井洗輝
兵庫県宝塚市立宝梅中学校 道岡利文
富山県立高岡南高等学校 森 雅湖
兵庫県立鈴蘭台西高等学校 竹村綾乃
山形県新庄市立新庄中学校 佐藤恵里香
兵庫県新温泉町立夢が丘中学校 坂本なつき
柳学園中学校 松崎由佳
岡山朝鮮初中級学校 崔 惠瑛
大阪教育大学付属平野中学校 田中真理菜
大阪教育大学付属平野中学校 越田 有
大阪教育大学付属平野中学校 長谷部慧
兵庫県新温泉町立夢が丘中学校 岸 洋志
学校法人成徳学園神戸龍台高等学校 植條妙子
大阪教育大学付属平野中学校 松本昂太郎
兵庫県立浜坂高等学校 前田一成
宮城県名取市立みどり台中学校 工藤領也
兵庫県立鈴蘭台西高等学校 原田 彩
兵庫県神戸市立神陵台中学校 垣内 彬
宮城県名取市立みどり台中学校 熊谷沙紀
兵庫県宝塚市立光力丘中学校 藪中 栞
兵庫県神戸市立神陵台中学校 長谷川美幸
大阪教育大学付属平野中学校 三木優樹
大阪教育大学付属平野中学校 早川真由
兵庫県新温泉町立浜坂中学校 谷口咲貴子
兵庫県立浜坂高等学校 池田真利
東京都立飛高等学校 岡本穂乃香

兵庫県立神崎高等学校 小林瑞穂
大阪府立夕陽丘高等学校 上野 彩
兵庫県立鈴蘭台西高等学校 齋藤 翠
柳学園高等学校 山形美津希
柳学園中学校 徳梅奏子
兵庫県立和田山高等学校 岡田和子
宮城県名取市立みどり台中学校 小泉春奈
兵庫県立浜坂高等学校 宮本 舞
兵庫県新温泉町立浜坂中学校 片村光助
大阪教育大学付属平野中学校 小川朝子
大阪教育大学付属平野中学校 藤岡沙季
兵庫県新温泉町立浜坂中学校 勝山祥十子
大阪教育大学付属平野中学校 松岡浩永
大阪教育大学付属平野中学校 吉住友宏
古園晃栄
兵庫県立八鹿高等学校 畑山桃子
兵庫県立八鹿高等学校 吉井 奨
埼玉県豊科高等学校 長沼優依
長野県豊科高等学校 倉科あや美
京都府福知山成美高等学校 野島亜悠
兵庫県立浜坂高等学校 山崎翔己
兵庫県社町立社中学校 宮崎 梓
宮城県名取市立みどり台中学校 鶴野寿美子
兵庫県明石市立錦城中学校 米澤由佳子

雨の音一人の声を消してゆくそれでも伝わる互いの気持ち
秋日和雪の重さに耐えるよう慣れぬ手つきで縄を持つ父
海の先空の繋がり続いている波は両方旅をしている

通学路後ろ姿を探してた会っても話はできなかつたけれど
十秒間に一本シユート決まるはず時間よ止まれみんなで願おう
時動く空見上げればあの時の自分がそこで泣いている

ゆつくりと一人で歩く並木道がすかに触れる温もりある手
あなたへのいろんな想い重なって僕の心はバクダンみたい

波の上月の光がふわふわと夜明けの波にさらわれてゆく
夜の釣り釣竿がうちにぎりしめ投げ釣りしよう大物ねらって
気づくかな?「ママありがとう」と言った後「パパもありがとう」と小さくつけたす

テニス部で毎日ボールを追いかける先輩のように優勝するぞ
髪型が変わっていてもその時は照れて言えないカツコイイねと
おだやかにつぶやく波の声を聞くとれた心がほぐされていく
母の留守さみしい声でなく小犬遊んでやるからこつちにおいで
なびなびとせびせびせびせびとサザサザ首で浮かべる美しき蒼

【学校表彰の部】

- 大阪教育大学付属平野中学校
- 兵庫県立浜坂高等学校
- 兵庫県立八鹿高等学校

【ネット投票の部】

ネット特別賞

(中高校生の部)

あなたへのいろんな想い重なって僕の心はバクダンみたい

兵庫県立神崎高等学校

藤原

聖

投票理由

恋をする心をバクダンに例えたところがいいと思った

導火線に火が点いちゃった「バクダン」。爆発した瞬間になるのか。十代と一つ差をせエネルギーを非常に感じさせてくれる。

若い素直なエネルギーが感じられ、ほほえましい。

今の僕の気持ちとまったく一緒。爆発しそつ！

バクダンという比喩が良いと思った。

(大学生の部)

いつの日が終わるかもしれないこの恋に君も全力でぶつかってくれ

青山学院大学

若林美幸

投票理由

上の句では恋戀における不安や切なさが表れており、それは対象的「下の句」では力強さを感じるため、いい短歌だと思いました。

二十歳前後の恋の切なさと熱意が伝わってくるかよ。「この頃の微妙な気持ちが出てくる」感じます。

長野県豊科高等学校

庵谷真美

兵庫県香美町立射添中学校

中村美希

兵庫県立浜坂高等学校

西垣裕理

岡山朝鮮初級中学校

河村希

兵庫県香美町立射添中学校

田中友香理

兵庫県香美町立射添中学校

岸至昂

大阪教育大学付属平野中学校

駒井宏美

兵庫県立神崎高等学校

藤原聖

大阪府立夕陽丘高等学校

松島加奈

兵庫県新温泉町立浜坂中学校

西岡涼三

兵庫県立八鹿高等学校

村崎友紀

兵庫県社町立社中学校

藤田早紀

学校法人成徳学園神戸龍谷高等学校

土谷美郷

柳学園中学校

森麻由弥

兵庫県立浜坂高等学校

木村明日香

大阪府立夕陽丘高等学校

岩永悠里